

企業価値向上へ戦略指南

東北経産局 仙台で経営者セミナー



企業の魅力や可能性について語る渡辺さん(左)と森さん

東北経済産業局は9日、「企業価値」をテーマとした経営者向けのセミナーを仙台市青葉区大町の複合施設「CROSS B PL US(クロスビープラス)」で開いた。オンライン参加を含め約140人が、財務諸表に表れない企業価値を高める手法を学んだ。

投資会社カーライル・シヤパン・エルエルシー(東京)の渡辺雄介マネージングディレクター(48)は企業の魅力を評価する尺度として市場規模や競争優位性を挙げ「企業の将来性について経営者がどれだけの考えや熱量を持っているかも大切」と指摘した。

日本金融人材育成協会(東京)の森俊彦会長(66)は企業の実存意義や価値を可視化する経営デザインシートを紹介。「従来の延長線ではなく、将来の姿から現状を引き算する思考で戦略を描いてほしい」と呼びかけた。シートの使い方の説明や、企業のビジネスプラン創出講座を受講した人の体験報告もあった。

受講した靴卸業ヒロセ(仙台市)の菅井伸一社長(48)は「社会情勢が変化中、経営価値を可視化し、従業員と共有することが企業が生き残る秘訣だと学んだ」と話した。